第 12 回地域防災情報シンポジウムに登壇しました（2018/9/14）

テーマ：災害情報，災害通信
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

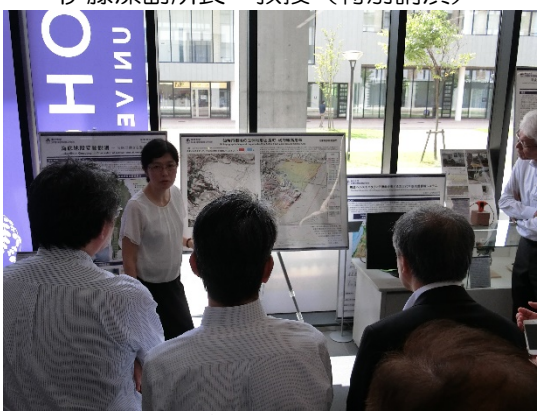
9 月 14 日(金)，「第 12 回地域防災情報シンポジウム」が，国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)，地域防災情報シンポジウム in 仙台実行委員会，東北大学電気通信研究機構および，東北大学災害科学国際研究所主催で，当研究所を会場にして開催されました．同シンポジウムは，東日本大震災の経験を活かしつつ，今後想定される巨大地震や大規模災害において，頑強で有効活用できる防災無線・情報ネットワーク等について，最新の技術動向や活用事例を発表し参加者の皆様との議論を通して現状・今後の課題の確認とその解決策を模索するために開催されました．

当研究所からは，伊藤潔副所長・教授（災害医学研究部門）が「世界トップレベルの「災害科学」研究拠点に向けて」～災害科学国際研究所の発足と活動～」という題目で特別講演を，佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が「災害伝承と ICT」という題目で一般講演を行いました．シンポジウム開催前には，「施設見学」として中鉢奈津子特任助教（広報室）が 1 階展示コーナーをご案内するとともに，震災記録の 3D ドキュメンタリーである「大津波 3.11 未来への記憶」の上映を行いました．

シンポジウムは，東京，静岡，高知，にも「サブ会場」が設置され，各講演の様子がリアルタイムで遠隔配信がなされました．弊所会場には約 80 名が参加し，大変盛会となりました．

伊藤潔副所長・教授（特別講演）

佐藤翔輔准教授（一般講演）



中鉢奈津子特任助教
（施設見学，写真左奥）

サブ会場への
遠隔配信の様子

会場の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）
写真：鈴木通江（広報室）